ボーリング柱状図

調　査　名	一級河川　太田川水系　横見川右支　通常砂防事業に伴う業務委託
事業・工事名	

ボーリングNo.	5	1	3	2	5	4	0	0	0	0	1

シートNo.

ボーリング名	No.1	調査位置	広島市東区温品六丁目	北緯	34° 25′ 01.9181″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	平成30年 3月 2日～平成30年 3月 7日	東経	132° 30′ 18.4682″
調査業者名		主任技師		現場代理人	
コア鑑定者		ボーリング責任者			
孔口標高	66.84m	角度	180° 上 下 0° 90°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南
地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機D－O	
ハンマー落下用具	半自動型		エンジン	ヤンマーディゼルNFD13-EK	
ポンプ	東邦地下工機BG-3C				

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	岩級区分	孔内水位／測定月日	深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm	原位置試験	室内試験	掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径／孔壁保護	コアチューブ／ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
1	65.24	1.60		礫混じり砂	灰褐						GL±0～GL-2.7m：崖錐堆積物 礫混じり砂。細粒砂～粗粒砂が主で、φ2～5mmの礫を少量含む。また木の根が少量混入している。		0.50	1.15	2/45				720	116	S/MC	20	60	0	無水/0	0
2	64.84	2.00			暗灰						GL-1.6～GL-2.0mは細粒砂～中粒砂が主でφ2～5mの礫を少量含む。		3/7 1.20	1.60					600			0	0			
	64.14	2.70			明灰						GL-2.0～GL-2.7mは細粒砂～粗粒砂が主で、φ2～5mmの礫を少量含む。			2.15	13/30				300							
3	63.84	3.00		玉石	白灰						GL-2.7～GL-4.5m：渓流堆積物 玉石。コア長約30cmで比較的新鮮である。			2.45				3/2	100		S/MC	20	60			
4	62.34	4.50		礫混じり砂	灰褐						礫混じり砂。中粒砂～粗粒砂が主で、φ2～15mmの礫を多く含む。			3.15	25/30				50		HW/DI	10	180	0	泥水/5	5
5	61.44	5.40		花崗岩	白灰	B	Ⅲ	b	β	1	GL-4.5～GL-8.0m 粗粒花崗岩。亀裂があるが新鮮である。GL－4.85mに幅約5cmの土砂を挟む。	CM		3.45					300	90	S/MC	0	0	0	無水/0	0
6	60.24	6.60					Ⅱ				GL-5.4～GL-6.6mは亀裂があるが、新鮮である。GL-6.3mに幅約2cmの土砂を挟む。	CH		4.15	14/30				76		HW/DI	10	180	0	泥水/5	5
7	59.34	7.50				C	Ⅲ	c	γ		GL-6.6～GL-7.5mは亀裂が多く、亀裂沿いが弱風化しているが、岩芯は硬質である。	CM		4.45					120		HW/DI	20	180	0	泥水/10	10
8	58.84	8.00				B	Ⅱ	b	β		GL-7.5～GL-8.0mは亀裂があるが、新鮮である。	CH		5.35	50/5			3/6								
9														5.40				3/7	91							
10																										
11																										
12																										
13																										

コア採取率 (%)　最大コア長 cm　RQD [%]

深度 m	打撃回数／貫入量 回/cm
1.15	2/45
2.15	13/30
3.15	25/30
4.15	14/30
5.35	50/5